



新市20周年記念シリーズ

われら20歳 ③

私たち社会人1年生

「将来の夢は幼稚園の先生に……」と子供のころから思っていたという遠藤真理さん（原田20歳写真右）と中松かおりさん（西木の宮 20歳写真左）。念願がかなってこの4月から今泉幼稚園の先生に。「子供と一緒に学び、成長したい」と抱負を語るピッカピッカの社会人1年生。

まちづくりへGo Go Go

一般会計 503億円
特別会計 290億2,212万円

総額793億2,212万円

渡辺市長は、三月定例市議会で、昭和六十一年度に向けて施政方針演説を行いました。この中で、本年度からスタートするまちづくり「二十一世紀プラン」を市民の協力、参加のもとに進めていきたいと思います。以下は、施政方針演説の概要と昭和六十一年度の予算のあらましです。



本年度の市政運営は

富士市は本年度新市制発足二十周年を迎えます。

新市が発足した昭和四十年代を振り返ると、日本経済は長期繁栄の時代であり、本市においては、地場産

業を中心に経済活動の極めて活発な時期でした。

高生産、高賃金という高度経済成長を謳歌する中で、物は豊かになり、生活水準も急激にレベルアップしましたが、その反面、市民生活に直接影響を及ぼす多くの問題が提起されました。その一つは、水質汚濁や大気汚

染に代表される公害の問題でありもう一つは、自然環境の保全と地域開発の問題でした。

その後、高度経済成長からオイルショック、低成長経済のもとにあえぐ行財政環境の悪化、また生活環境の変化や価値観の多様化等急激な、時代の変遷の中で試行錯誤のときもありましたが二十万市民の英知とエネルギー、行政努力が相まって、いくつかの困難な課題を克服しました。

そして、二十一世紀に向ける快適で潤いのある明るく住みよいまちづくりの基盤は、着々と整ってきました。しかし、人口の高齢化高度情報化及び国際化など経済社会の変化のなかで、二十一世紀に向けて活力ある都市づくりはどうあるべきか……都市づくりの道のりは、なお尽きることはありません。現在、国において第四次全国総合開発計画の策定作業が進められています。この四全総の中間報告では、人口を初め、政治、経済文化、情報などの各動向を分析した上で、将来展望に立つ国土政策は「共生・ネットワーク型」を目指し、地方においては、風土と文化に根ざした個性の強化や人材の確保などに、地域住民と行政が一体となって創意工夫をこらすことの必要性が強調されています。このように、従来にも増して地方の自治分権が強調される中で、二十一世紀に向けて、都市づくりの新たな飛躍と発展の軌道を設定するため、次の三点を重点に市政運営を進めていきます。



21世紀に向けて新たな

新年度予算と施政方針

① 生き生きとしたまちづくりに向けて

本市は、新市発足以来二回にわたり総合計画を策定し、市民の皆さんの協力のもとに、長期的、計画的なまちづくりを進めてきました。その結果、道路、公園、下水道を初め、医療、福祉、教育、文化、スポーツ施設などが整備されましたが、これらの都市基盤や生活基盤に対する市民ニーズは、依然として強いものがあります。また、高齢化、情報化の潮流に対する適切な対応が求められており、加えて鋭意実現に向けて取り組んでいます。新幹線新駅設置は、都市機能の充実に重要なインパクトとして位置づけられています。こうした諸条件を踏まえて、目指す都市像を、富士山をシンボルにみどりあふれる文化と産業のまち」と定めた「ふじ二十一世紀プラン」の基本構想が昨年十一月定例市議会

で議決をいただきました。この計画は、新しいまちづくりへ向けて本年度からスタートしますが、大きな特色として、従来、とかくハードウェアが中心になりがちであった計画から、ソフトウェアを重視し、市民の連帯と心のふれあいを求めるこの計画の遂行には、市民の協力が絶対不可欠の要素です。

また、今までの部門別計画に合わせ、新しく二十地区にわたる地区別計画を導入することによってそれぞれの「まちづくり会議」で要望の出された道路、河川等、地域の生活環境整備も、計画的に着実な対応を図っていきます。

この計画を実現するには、膨大な財源と公共用地の確保など多くの課題が待ち受けていますが、まちづくりは市民と行政が一体となつて進める共同作品であり、二十一世紀プランはそのための道しるべとなります。「ふじ二十一世紀プラン」を広く市民に理解してもらうとともに、まちづくりの主役は、市民一人ひとりの自主と責任であり、多くの市民参加が図られてこそ、市民のための市民のまちづくりが実現します。

③ 富士に映る「ロマン」のある新幹線富士駅を

また、「ふじ二十一世紀プラン」を推進するための個別計画として緑豊かな自然環境をつくり、市民と行政が一体となつて、総合的な環境創造を目指すため、「グリーンふじ二十一」計画を策定しました。この計画の推進に向けて、本年度を「緑化元年」と宣言し、緑あふれる文化と産業のまちづくりを進めていきます。

また、富士まつり、福祉、健康、安全まつりを統合した、「フェスタふじ20」、本市の工業製品や地場産品を紹介する「産業まつり」など各種イベントの開催、記念たばこやはがきなど、民間等の協賛イベントも実施します。

② 新市発足二十周年を明日にはばたく誓いに

本年度、本市は新市発足二十周年を迎え、同時に「ふじ二十一世紀プラン」のスタート年次に当た

る飛躍発展へのステップの年となります。この記念すべき二十周年に当たり、十一月一日を中心に、

市民の英知とエネルギーを結集し広範多彩な記念イベントを計画しています。そして、こうした行事の一つ一つを通じて、「新たな創造確かな発展」に向けて、都市づくりへの誓いを新たにしていきます。

二十周年記念イベントは、市民各層及び各団体からなる新市二十周年記念行事実行委員会が決定した実施計画に基づいて展開されますが、恒例の市長表彰に加え、長年にわたり市勢の伸展に尽くした方への表彰や記念式典を初め、後世に残す施設整備事業として、保健婦人センターの実施設計に着手します。また、富士まつり、福祉、健康、安全まつりを統合した、「フェスタふじ20」、本市の工業製品

新幹線富士新駅の設置は、交通の利便性はもとより新幹線駅のある都市として、富士市のイメージアップを初め、地域の情報化、国際化、企業誘致、教育文化等、活力ある都市づくりの起爆剤となるものです。特に、富士川流域を生活圏とする各市町、身延線沿線、さらに航路を介して西伊豆地域の各市町村にも、大きな相乗効果をもたらし、新しい地域開発、観光開発等に大きな期待が寄せられます。

こうした関係住民の願いと期待の中で、各地権者や、市民を初め、周辺市町村の皆さんの多大な協力、工事は順調に進められています。新駅駅舎構想についても、市民

重点施策に7つの柱



我が国の経済は、物価は安定しているものの、対外貿易摩擦、円レートの上昇など今後の経済の動向は予断を許さないものがあります。このような中で本市の新年度予算は、今後の地方財政の推移に留意しつつ、21世紀を支え得る良質なストックの形成と地域経済社会の活性化に向けて、実情に即した適切な事業の選択と質的な充実に配慮し、限られた財源の中で、積極的な予算編成を行いました。

◆1 緑豊かな安全なまちへ 35億 834万3,000円

- | | |
|--|--|
| 【1、みどりと自然 7,635万円】公共施設環境保全林形成事業、グリーンふじ富士21記念事業など | 業、避難路整備事業など |
| 【2、公園、緑地 8億100万円】公園整備事業など | 【5、消防、救急 2億5,801万3,000円】消防第9分団、詰所移転新築事業、救急通信施設整備事業など |
| 【3、風水害の防止 7億1,704万円】河川整備事業など | 【6、防犯 1,452万円】防犯灯設置補助及び電気料補助事業 |
| 【4、地震防災 13億2,062万円】小中学校校舎耐震補強事 | 【7、交通安全 3億2,080万円】交通安全施設整備事業 |

◆2 健康で住みよいまちへ 13億 4,920万1,000円

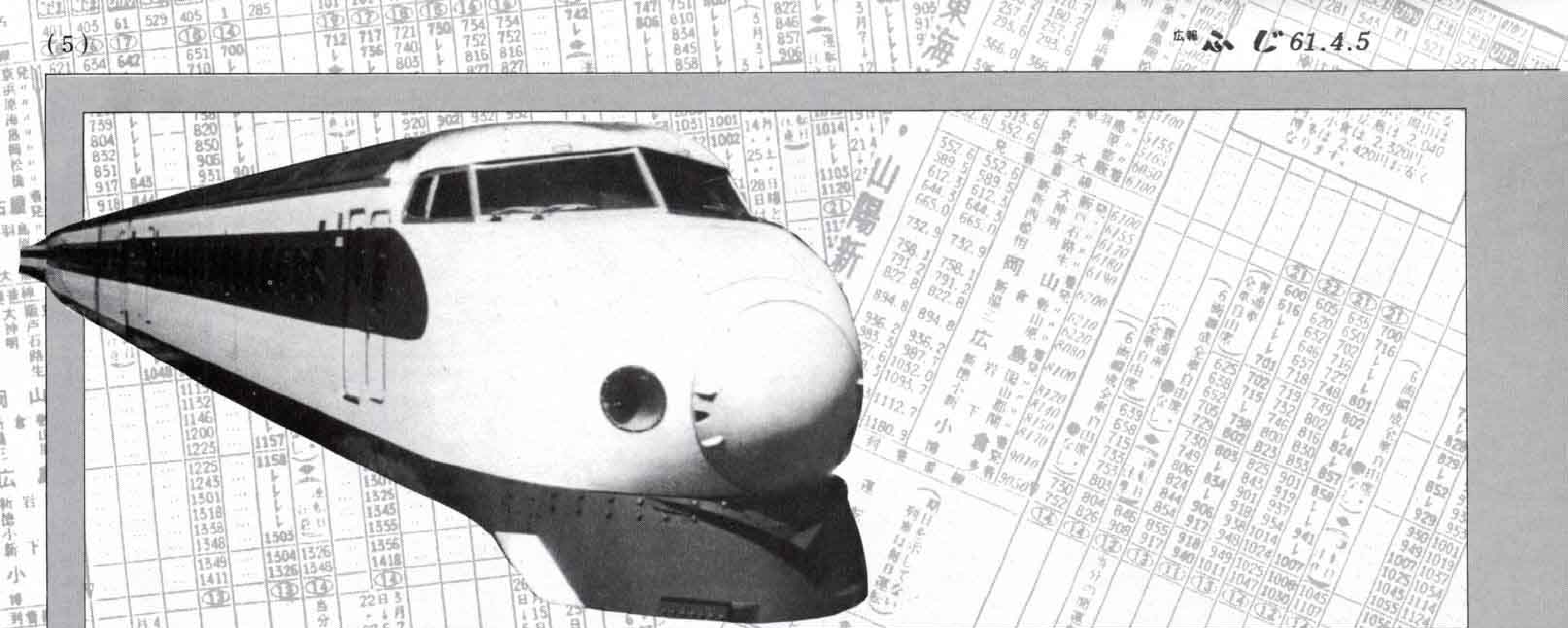
- | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| 【1、保健 3,819万円】保健婦人センター建設事業 | 【4、廃棄物処理 2億572万1,000円】ごみ処理施設建設事業など |
| 【2、医療 4億6,042万5,000円】救急医療事業など | 【5、斎場整備 5億9,238万6,000円】斎場建設事業 |
| 【3、環境汚染防止 5,247万9,000円】大気汚染測定機器整備事業など | |

◆3 ふれあいのある快適なまちへ 148億 6,193万9,000円

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 【1、コミュニティー 4,280万円】公会堂建設補助事業 | 改良事業 |
| 【2、市街地整備 17億2,658万8,000円】土地区画整理事業など | 【6、上水道 3億8,353万4,000円】配水管改良事業など |
| 【3、住宅 2億3,670万円】市営住宅建替事業 | 【7、下水道 38億4,040万円】公共下水道処理場新增設事業、汚水管渠整備事業など |
| 【4、生活道路 16億3,796万2,000円】市道新設改良事業など | 【8、交通運輸 59億4,670万5,000円】新幹線富士駅設置事業など |
| 【5、都市計画道路 10億2,825万円】都市計画街路新設 | 【9、市街地景観 1,900万円】河川緑化事業など |

◆4 おもいやりのある福祉のまちへ 5億 6,212万1,000円

- | | |
|---|---|
| 【1、社会福祉 8,700万円】社会福祉センター建設事業 | 市推進事業など |
| 【2、児童福祉 440万円】児童遊び場整備事業など | 【5、母子・父子家庭 7,905万6,000円】乳幼児医療費助成金支給事業など |
| 【3、心身障害者 1億1,366万8,000円】重度心身障害児(者)医療費助成事業など | 【6、勤労者 2億3,600万円】勤労者住宅建設資金貸付事業など |
| 【4、障害者の社会参加 4,199万7,000円】障害者福祉都 | |



5 高齢者の生きがいと活力あるまちへ

2億693万
2,000円

- 【1、健康の保持 8,695万4,000円】老人保健ヘルス事業
- 【2、高齢者医療 346万8,000円】老人医療費助成事業
- 【3、在宅福祉 6,376万5,000円】老人家庭奉仕員派遣事業、在宅老人リフレッシュ事業など
- 【4、施設福祉 2,000万円】特別養護老人ホーム建設補助事業
- 【5、高齢者の社会参加 3,274万5,000円】シルバー人材センター補助事業など

6 心豊かな人づくりのまちへ

42億
8,063万8,000円

- 【1、幼児教育 4億5,490万円】岩松幼稚園改築事業など
- 【2、義務教育 14億8,900万円】神戸小学校屋内運動場改築、吉永第二小学校校地造成、岩松第二小学校用地取得及び造成事業など
- 【3、高等学校教育 1億1,575万円】市立商業高校情報処理コース新設事業など
- 【4、大学・短期大学 47万円】高等教育機関誘致調査
- 【5、社会教育 5億3,345万円】吉永公民館、東公民館改築事業
- 【6、青少年の健全育成 435万円】青少年教育講座用教材購入
- 【7、芸術文化 2億7,755万円】(仮称)文化会館建設構想調査など
- 【8、文化財 9,575万円】市立博物館常設展示場展示替え事業など
- 【9、国際文化交流 1,171万8,000円】国際友好交流事業
- 【10、スポーツ・レクリエーション活動の振興 3,150万円】小・中学校夜間照明施設整備事業

7 いきいきとした産業のまちへ

21億
5,896万6,000円

- 【1、工業 3億3,067万8,000円】中小企業集団化育成補助事業など
- 【2、商業 5億100万円】小口金融融資事業など
- 【3、農業 10億7,436万9,000円】沼川湛水防除事業、大
- 【4、林業 2億5,291万9,000円】林業地域総合整備事業など
- 【5、産業振興 2億1,000万円】

その他

2億676万7,000円

新市20周年記念行事、平和都市推進事業など

ネットワーク



△岩松地区の歴史は実相寺とともに

自然と史跡に恵まれた うるおいのあるまち

岩松

- ▼人口 一万五千三百五十三人
- ▼世帯数 四千二百五十世帯
(昭和六十一年一月一日現在)
- ▼面積 六・五一平方キロメートル

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。5月は富士南、6月は田子浦地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

岩松地区は、岩本山台地と富士川の東岸に広がる地区で、今から八〇〇年ほど前に創建された岩本山実相寺の門前町とし発足しました。江戸時代の初期、古郡孫太夫父子三代にわたる治水事業「かりがね堤」の完成は、富士川流域の新田開墾を進め、洪水から完全に新田を守ることに成功しました。昔は、旧東海道の沿線として、また富士川の渡船場として旅人の往来の多い地域でもありました。現在は、次々と住宅が建ち並び新しい住宅地を形成しつつありますが、富士川河原の果樹園、岩本山台地東側の茶畑、そ菜畑など農業地域を残している地区でもあります。

また、かりがね堤から西の富士川河原、岩本山の樹林地帯など自然景観もすばらしく、市民のレクリエーションの場ともなっており、文化財も数多く残されている地域です。今後、文化財の保護や自然との調和を保ちながら、文教地区として健康で快適なまちづくりを目指します。



田島さん一家は双子の兄弟と父英一さん(五十二歳)・母芳子さん(四十一歳)の四大家族。長男の克彦君と次男の孝之君は



ほがらか家族

湯沢平一 田島さん一家



湯沢平一丁目に住む田島克彦君と孝之君は双子の兄弟。ことしそろって富士宮西高へ進学しました。一家団らん中の田島家におじやましてみました。

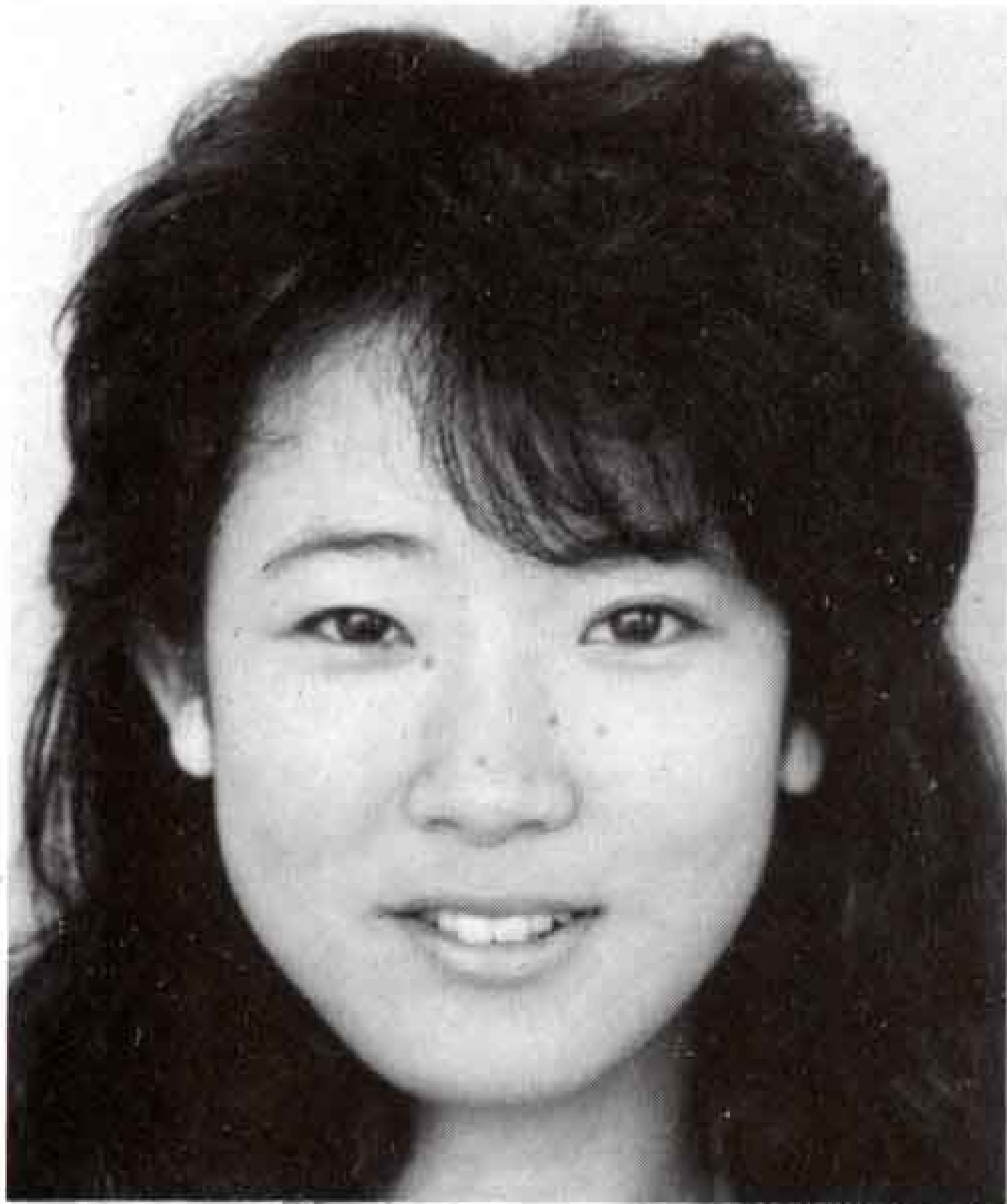
双子ですから当たり前かもしれないですが、よく似ています。先生やクラスメートが間違えることがよくあり、幼いころの写真になると「自分たちでもどっちがどちらかわからない」とのこと。

岩松中学校時代は、二人とも陸上部に属していました。市民陸上大会では兄の克彦が走り高飛びで優勝、弟の孝之君が四百メートルで準優勝しています。また、ジュニアリーダーとしても活躍しました。

二人は、「決して相談はしませんが、結果として同じことをしています」と言います。

他人が見ると何から何までそっくりの二人も、お父さんから見ると「克彦は慎重派、孝之は行動派で正反対」といいます。お母さんは「とても手のかからない子供たちで私は楽ですよ」と大きな声で笑う。

田島さん一家の雰囲気は、ほがらか家族。ほがらかさの秘訣は、お母さんの笑い声にあると感じました。



NHKテレビ「しずおか630」
のアシスタント

渡辺 裕子さん

伝法上中町 22歳



昨年の秋のこと。大卒女子の就職状況は厳しく、焦りかけていたとき、ふと目にしたのが「しずおか630」のアシスタント募集の放送。
ただ「やってみてみたいな」という軽い気持ちで申し込んだところ、

百人を超える応募者の中から、午後六時半の顔に選ばれました。身長は百六十七センチメートル。キヤメル色のブレザーの着こなしはとてもシックです。「お化粧の仕方もよく知らなくて…」という健康的なさわやかさが印象的です。
「六時三十分と言つと、仕事から帰つてくつろぐ時間。視聴者の方にくつろげる雰囲気をお伝えしたい。」というのが今の抱負。
花の大学生活から全く違う社会へ飛び出して、見ることに驚くことばかり。ただ今やべり方の特訓中です。
「富士市の視聴率を上げてくれと言われています。皆さん見てください。」としつかり「マーシャル。テレビへ登場は四月七日からの予定です。」

まち

我がまちを語る



佐野隆夫さん

岩本上町 64歳

「お茶とみかんのあるところへ住みたい」とかねがね思っていた私は、今から三十五年ほど前、富士宮から現在の居住地(岩本上町)へ移ってきました。

このあたりの町並みは、当時と比べてもほとんど変わっていません。それだけ土着の人たちが多いまちだと言えます。
実相寺の門前町として発展してきたなごりか、近所にはやどやの〇〇さん、とうふやの〇〇さんなどいまだに屋号で呼ぶ家も多く、門前町としてにぎわった当時がしのばれます。また、昔ほどではありませんが実相寺を初め、天神さん水神さん、稲荷さんなど昔ながらのお祭りにもぎわいを見せます。
このように神社、仏閣を大切にしてきた土地柄か、岩松人は信仰深く素朴な人だと言えます。



水神さんの掃除を
水神子供会



文化活動をもっと盛んに
渡辺幸子さん 滝戸

水神の子供会は、毎月、第二、第四日曜日、小学校三年生以上の子供たちが水神社の掃除をしています。昭和五十六年から、みんなの地域をきれいにしよう、奉仕の心を養おうなどの理由で始めたものです。「雨の日、風の日、寒い日暑い日などつらいときもあります。が、これからも続けていきたい」とみんながんばっています。

「昔から住んでいる人は気付かないでしょうが、岩松地区はとも住みやすいところですよ。」と、十二年前に南足柄市(神奈川県)から転居してきた渡辺さん。
毎週、岩松公民館を会場に生協活動の一環として軽スポーツを楽しんでいます。「文化活動がもう少し盛んになるといいですね。」と、今後を期待をしています。



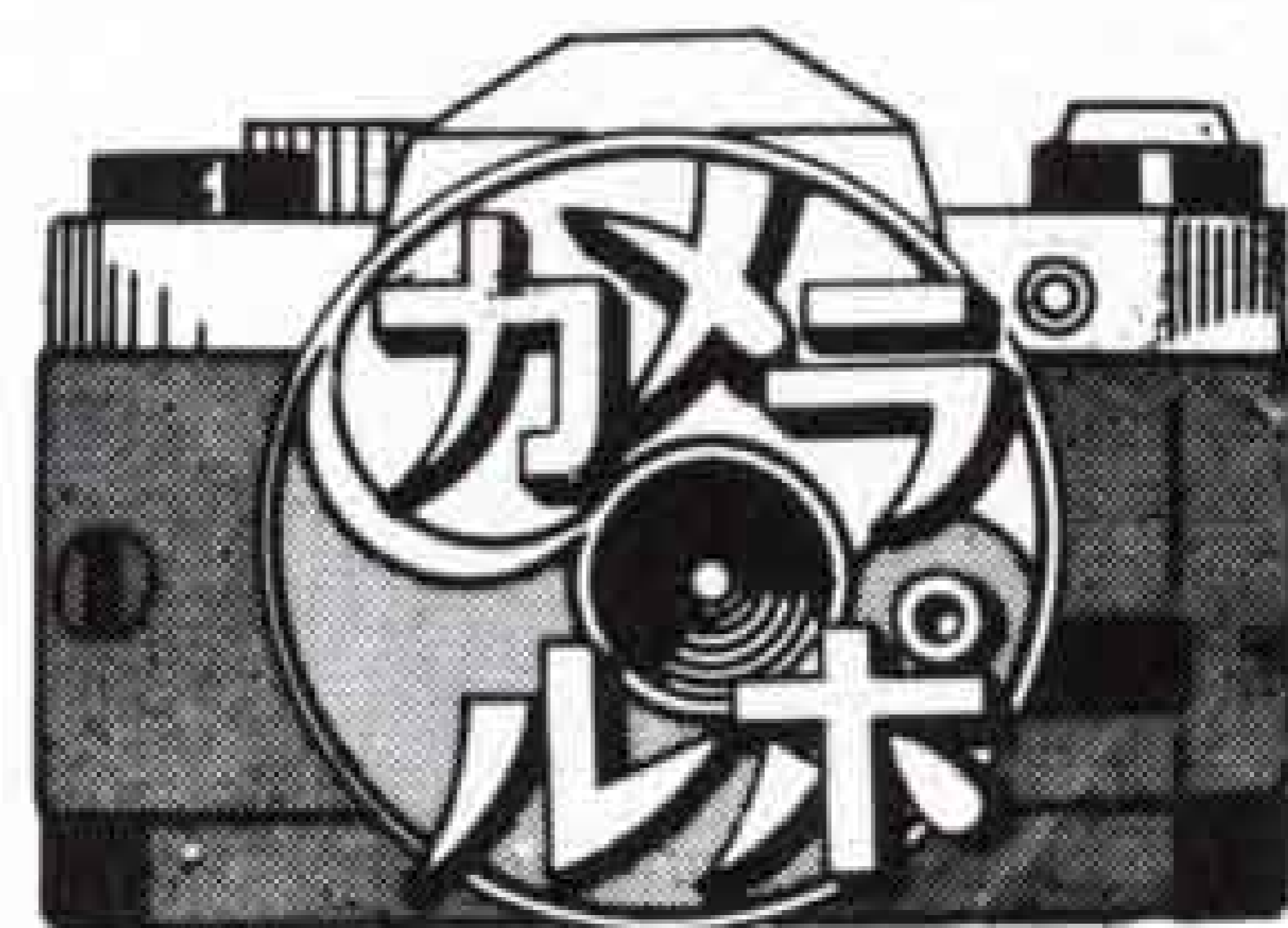
私も岩松の人曰:
クラデユス・渡辺さん 浦町

昨年三月、常夏の国ドミニカから、日本人のご主人との結婚により日本へ。「友達もいっぱいできました」と笑顔で答えるクラデユスさん。「語学が大好き」の言葉どおり日本語の上達ぶりにはビックリ。家事、育児の合間にスペイン語を教え、エアロビクスで汗を流すという生活。やさしいご主人と祖父母、長男の五人家族。

あの人・この人・こんなこと



僕らの保育園ピツカピツカだぞー



△新園舎での楽しい給食



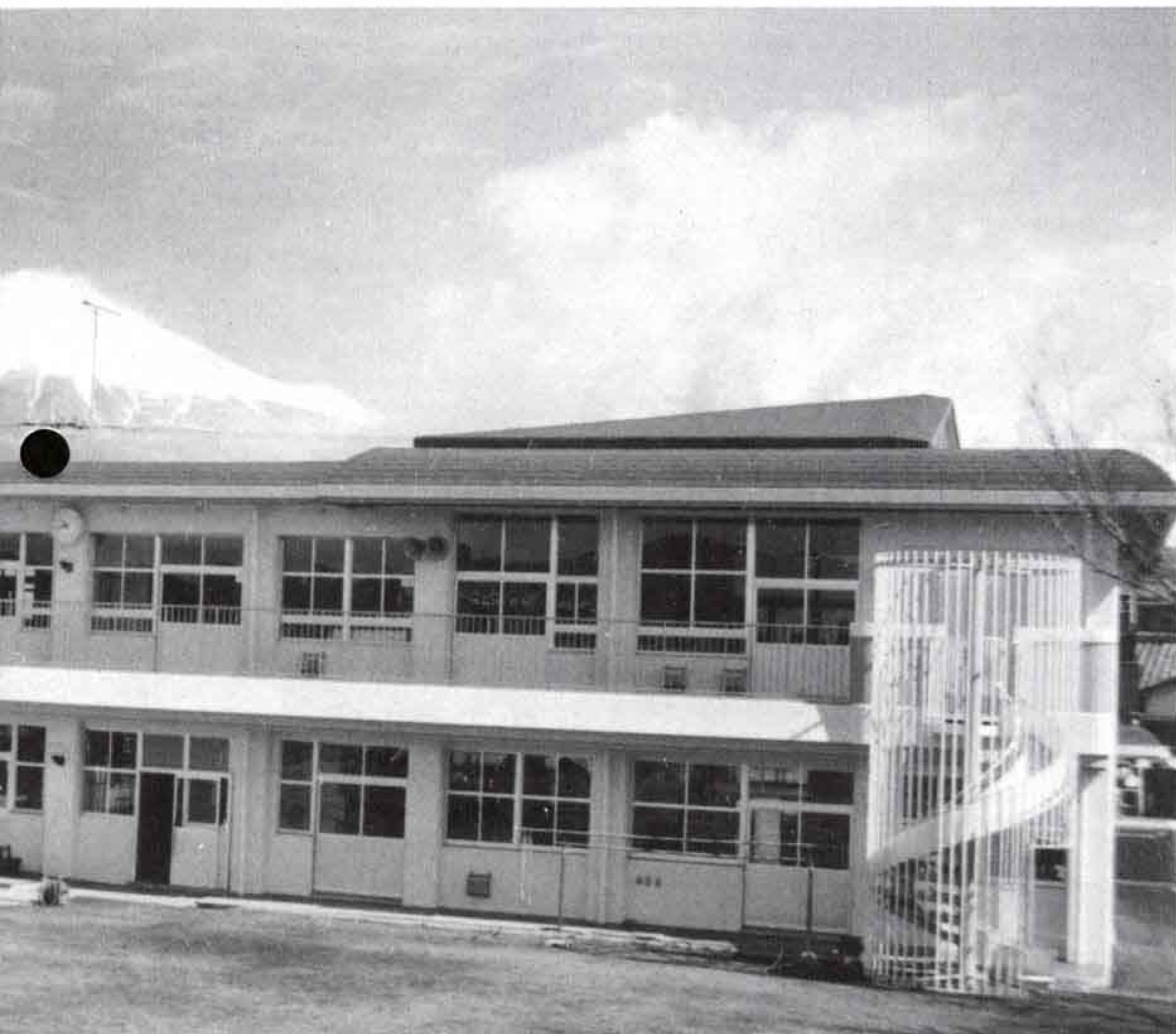
▷本番同様に卒園式の練習



厚原保育園

老朽化が著しく改築工事を進めていた市立厚原保育園が完成し、三月半ばから新園舎で保育が始まりました。年長児は、短期間ながらも新園舎で保育を受けられ、卒園式も迎えることができ大喜び。

新園舎は、機能性と採光面を配慮し、モダンな屋根や壁面に文化の薫りが漂います。敷地面積は、一九〇四・〇一平方メートル。鉄筋コンクリート造り二階建てで耐震構造を施し延べ床面積八四三・六〇平方メートルです。



社会教育の拠点を整備

公民館は、各種講座や講演会など地域住民の学習の場として重要な役割を果たしています。

富士駅北地区の社会教育活動の拠点である富士公民館は、手狭となつたため増築工事を進めていきましたが、このほど完成、三月二十七日から開館しています。敷地面積は、一、一五一・六五平方メートル、鉄筋コンクリート造り二階建てで延べ床面積九二六・三三平方メートルです。

富士公民館



消防体制をより充実

富士市中央消防署大淵分署は、市内広見、大淵地区を含む中央北部の防災体制を強化するため、新設したもので、昨年の十二月二十四日から業務を開始しています。

敷地面積は一、三一九・九九平方メートル、鉄筋コンクリート造り二階建てで延べ床面積三九六・九二平方メートルです。同分署は、市内中央北部の防災拠点となり、水槽タンクつきポンプ車一台を配置してあります。

大淵分署



「地域防災計画」を一部修正

—津波に対する措置等を盛り込む—



つり人たちのために設置した広報無線

富士市防災会議は、市の防災の基本計画である「地域防災計画」の一部修正を行いました。

「地域防災計画」は、昭和四十二年に災害対策基本法に基づき作成され、昭和五十五年、予想される東海地震に対応するため「東海地震対策編」を新たに作成しました。今回の修正は、津波対策等を計画の中に盛り込んだもので、二月二十一日富士市防災会議で承認されたものです。

主な修正内容は次のとおりです。

▼一般対策編

- ・田子の浦港が特定港に指定され清水海上保安部田子の浦分室が開設されたので防災関係機関として登録しました。
- ・県が調査した土石流危険渓流を予想される災害として組み込みました。

- ・市及び県の防災無線施設等の整備充実を図つたのでその概要を示しました。
- ▼東海地震対策編

 - ・東海地震以外の地震が発生した場合にも適用できるようにしました。
 - ・自主防災会に「防災委員制度」を創設するとともに、「自主防災地図」を作成し、効果的で実践的な自主防災活動の基盤とするように図りました。
 - ・津波に対する自衛措置として、津波注意報、津波警報が発表されたとき及び震度四以上の地震を感じたときの基本的事項を示しました。

その他、防災関係機関等の意見により必要な字句、名称等の修正をしました。



△防災委員の研修会

△新しい遊戯室で歌のおけいこ



吉永分署

昨年九月から移転新築工事が進められていた富士市中央消防署・吉永分署が完成し、三月十五日から業務開始しました。

吉永分署は、敷地面積九一・七五平方メートル、鉄筋コンクリート造り二階建てで延べ床面積三九六・六七平方メートルです。市内東部地区の防災拠点となる吉永分署は消防車一台のほか六十一年度からは、市内三番目の救急隊を配置し、救急活動の迅速化を図ります。





暮らしのたより



1日人間ドック

対象者 ・ 4月1日現在満30歳～70歳未満の人（老人保健法該当者を除く）
 ・ 1年以上国民健康保険に加入している人 ・ 国民健康保険税を完納している人

定員 100人（先着順）

検査機関 医師会医療センター

検査料 33,000円（個人負担金1万円）

申し込み期間 4月15日～30日

申し込み・問い合わせ

印鑑、国民健康保険被保険者証を持って市国保年金課へ 内線2338

手話講習会

とき 5月6日(火)～7月29日(火)

毎週火曜日計13回 18:30～20:30

ところ 吉原市民会館

定員 市内に居住する人60人

申し込み期間 4月30日まで（定員になり次第締め切り）

申し込み・問い合わせ

市福祉課 内線2316 電話でも可

心身障害児機能回復訓練

とき 土・日・祭日を除く毎日

9:40～14:30

ところ そびな学園

対象者 ・ おおむね6歳以上18歳未満の肢体不自由児 ・ おおむね6歳以上で肢体不自由と精神薄弱が重複し

ている者及び児童
申し込み、問い合わせ
市福祉課 内線2317

駿河湾周遊体験航海

田子の浦港開港と市制の20周年記念行事です。

出航日時 4月26日(土) 13:00～14:20～の2回、27日(日) 9:30～11:10～ 13:30～15:00～ の4回

乗船場所 4月26日 カーフェリー発着場 27日 吉原埠頭

乗船料金 無料

乗船人員 4月26日 各320人 27日 各400人

申し込み期間 4月14日(月)～19日(土) 9:00～16:00（土は正午まで）

申し込み場所 市役所2階市民ホール

問い合わせ先 市工業課 内線2581

産業青年等の海外研修

研修期間 9月7日(日)～20日(土)

研修先国 アメリカ、カナダ

対象者 次代をになう産業青年として、地域・職域において指導的役割を果たしている経営後継者及び県内の事業所等の青年技能者。

募集期間 4月14日～5月13日

募集人数 農林班15人 商工水産班15人 技能班10人

申し込み・問い合わせ

市商業労政課 内線2591

吉永公民館が一時移転

来年3月まで隣接する旧吉永分署跡へ移転します。☎34-1014



児童手当 所得制限が変更

児童手当の所得制限限度額が6月から変わります。これまで所得制限により受けられなかった人、新たに受けようとする人は児童課へ。

申請期間 5月1日～31日

問い合わせ 市児童課 内線2327

(1)児童手当

扶養親族等の数	所得額	収入額
0人	133.0万円	213.6万円
1	163.0	256.4
2	193.0	299.3
3	223.0	340.6
4	253.0	378.1
5	283.0	415.6
6	313.0	453.1
7	343.0	490.6
8	373.0	528.1

(2)特例給付(厚生年金に加入して1表以上の人)

扶養親族等の数	所得額	収入額
0人	307.5万円	446.3万円
1	337.5	483.8
2	367.5	521.3
3	397.5	558.8
4	427.5	596.3
5	457.5	630.0
6	487.5	663.33
7	517.5	696.67
8	547.5	730.0

ふるさと村 春まつり 写真撮影会

とき 4月27日(日)9:00～14:00

雨天時は5月4日 **ところ** 広見公園 **モデル** 市内のヤングレディ3人

4月の休日当直医

休日及び平日夜間の当直医は、急病者のために定めたものです。

急病のときだけご利用ください。

内科 救急医療センター 51-0099 伝法
小児科

◇4月6日(日)

外科 戸田医院 63-5213 横割1

〃 米山外科 52-0275 今泉1

産婦人科 長野医院 61-1907 柚木

柔道整復 中村接骨院 61-1073 横割1

◇4月13日(日)

外科 松本整形 71-2570 久沢

〃 米山病院 52-3060 吉原4

産婦人科 遠藤医院 52-1941 吉原3

柔道整復 平田接骨院 63-2200 上横割

◇4月20日(日)

外科 川村病院 61-4050 中島

〃 秋山外科 34-0075 富士岡

産婦人科 北西医院 61-0119 本市場

柔道整復 北村接骨院 63-7180 宮島

◇4月27日(日)

外科 山崎医院 71-3315 厚原

〃 渡辺病院 51-3751 錦町

産婦人科 中島医院 51-4188 永田町

柔道整復 近藤接骨院 52-5187 今泉3

◇4月29日(火)

外科 佐野整形 71-6200 天間

〃 芦川病院 52-2480 中央2

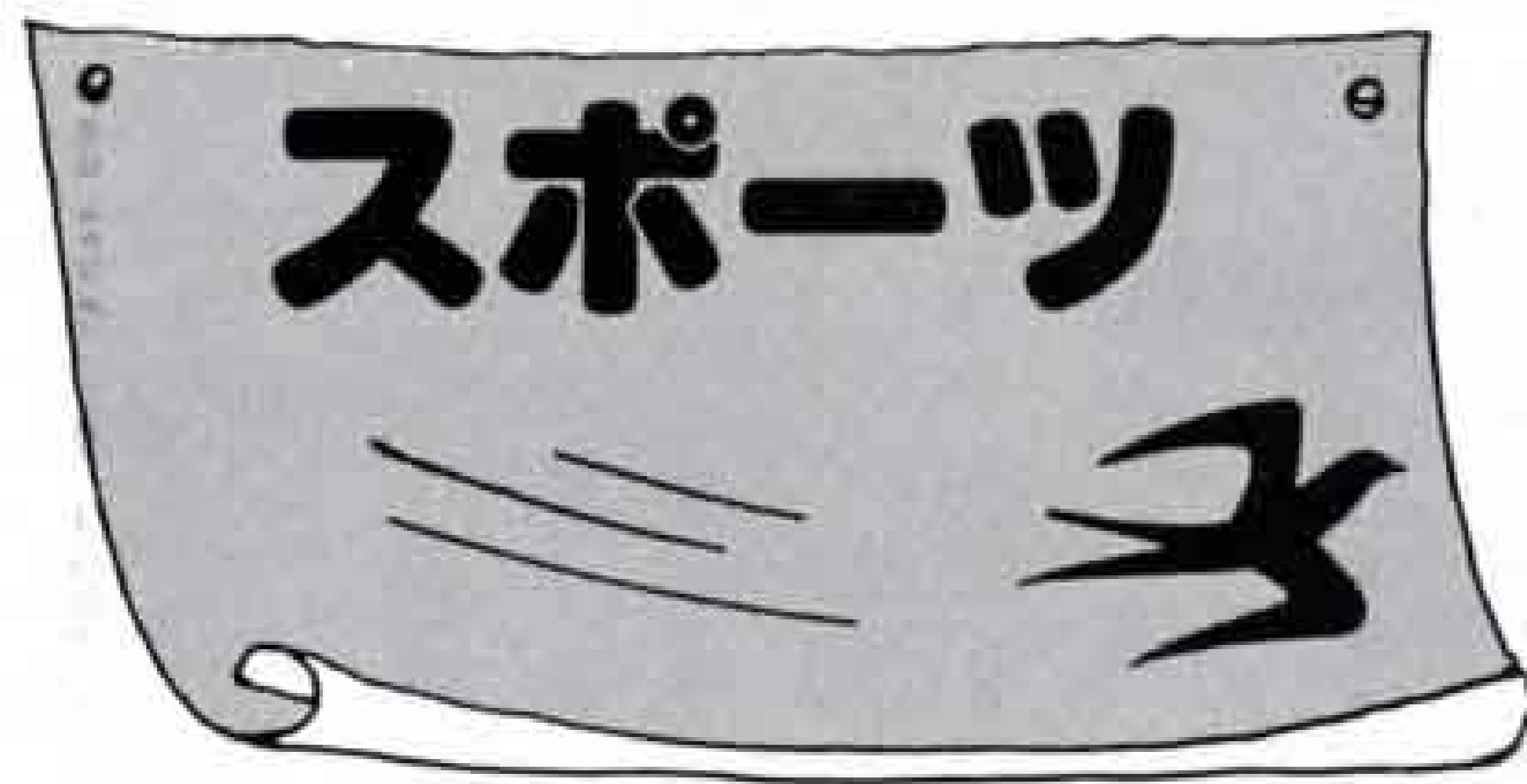
産婦人科 鈴木医院 52-1712 今泉1

柔道整復 那須接骨院 64-3337 松本

※歯科は歯科医師会館☎53-5555で行います。

平日夜間及び休日当直医の

問い合わせは ☎51-9999



スポーツ教室

◇高齢者健康体操教室

とき ①5月9日～7月11日
毎週金曜日 10:00～11:00
②5月12日～7月14日
毎週月曜日 10:00～11:00
ところ ①市立体育館②鷹岡公民館
対象者 60歳以上の健康な人
①は100人 ②は70人

◇軽スポーツ教室

とき 5月13日～7月15日
毎週火曜日 10:00～11:30
ところ 勤労者体育センター
対象者 一般男女50人

◇リズム体操教室

とき 5月15日～7月17日
毎週木曜日 10:00～11:30
ところ 市立体育館
対象者 一般女子60人

◎申し込み 5月1日(木)に参加料500円を持参して市文化体育課へ。電話申し込みは不可。高齢者健康体操教室の①の受付は9:00～9:30、②の受付は鷹岡公民館で9:00～9:30です。

◎問い合わせ 市文化体育課内線2724

3B体操教室

とき 5月6日～7月8日 毎週火曜日計10回 19:00～20:30。
ところ 市立富士体育館

対象 一般女子
定員 50人(先着順)
受講料 3,000円(保険料を含む)
申し込み、問い合わせ
4月22日(火)～26日(土)までに受講料を添えて(財)富士市施設利用振興公社(勤労者体育センター☎35-0672 吉原市民会館☎52-0740 富士文化センター☎61-6262)。

エアロビクス体操教室

とき 5月6日～7月15日 6月24日を除く毎週火曜日計10回 10:00～11:30
ところ 市立富士体育館
対象 一般女子
定員 50人(先着順)
受講料 3,000円(保険料を含む)
申し込み、問い合わせ
上記3B体操教室と同じです。



自然パンフレットを作成

市みどりの課は、丸火自然公園・須津川溪谷・浮島ヶ原など、富士市の代表的な自然を紹介したパンフレット「富士市の自然」を作成しました。パンフレットは、みどりの課、または各公民館にて無料でお分けします。

問い合わせ 市みどりの課 内線2417

電話お願い手帳

聴覚障害者は一般の電話の使用が困難です。聴覚障害者にオレンジ色の「電話お願い手帳」を示されたら、障害者のかわりに電話をしてください。

問い合わせ 市福祉課 内線2316

いっせい防疫

月日	午前	午後
4月14日(月)	上和田町 吉原緑ヶ丘 源太坂町	東国久保 西国久保
4月15日(火)	日吉町1～3 宮川町	昭和通 大和町 住吉町 幸町
4月16日(水)	吉原本町1～4 宮町 西本通り 伝馬町	南町 新通り 緑町
4月17日(木)	東本通り1～3 依田原1～4 春日町	八代町 荒田島1・2
4月18日(金)	津田 青島 新青島町 高島	錦町1・2 新追町 西仲町
4月21日(月)	弥生町 宮の上 長者町	瓜島 日及出町 三日市 千代田町
4月22日(火)	中村町 吉原上中町 田端町 中桁	上田端 伝法町3
4月23日(水)	伝法町1	伝法町2
4月24日(木)	川原宿 蓼原町3 塔の木	藤間 蓼原町1・2 十兵衛北
4月25日(金)	五味島 本市場3・4	本市場1・2 国久
4月26日(土)	浅間町 中島新道町	本市場新田 松本
4月28日(月)	富士中島上 富士中島下	柚木

園芸コーナー

春の草花園芸



【春まき草花の種まき】

春まき草花のシーズンになりました。粒の大きい種子はビニールポットにまき、細かい種子は平鉢やイチゴパックの空き容器にまくとよいでしょう。春まき草花はあわてて早くまくと温度不足のため発芽が遅れたり、ふぞろいに

なることがあるので、十分に気温が上昇してからまくようにします。

【夏に楽しむ鉢植え球根の植えつけ】

グロキシニア、球根ベコニア、アキメネス、カラジウムなどは寒さに弱い球根植物ですから、暖かくなってから植えつけるようにします。夏の草花を光線の足りない室内で育て、美しい花を咲かせるのは苦勞です。この点、グロキシニア、アキメネスなどは陰地性の球根草花ですから、夏のインテリアとして窓ぎわで楽しむのにもっともふさわしい草花といえます。

用土は通気性と排水のよい土を好むので、ピートモスとパーミキュライトか川砂、あるいは赤玉土と腐葉土など

を5:5の割合で配合した軽い用土を使います。

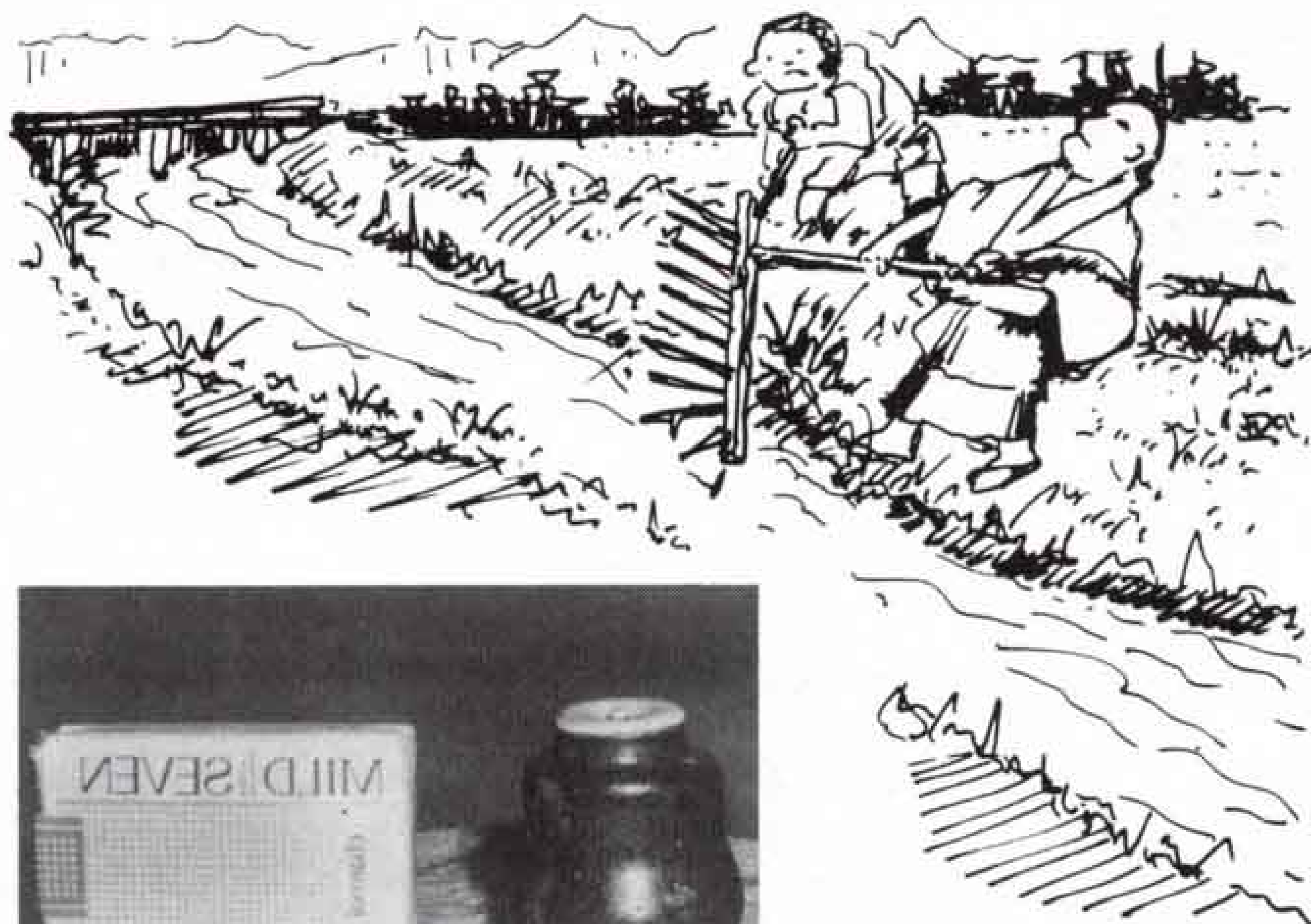
【鉢植え花木の再生】

室内で冬越ししたハイビスカス、ノボタン、ランタナ、ゼラニウムなどはこれから新芽が伸び始めます。

混みいった枝や細い枝を整理して残った太い枝を半分くらいに切りつめ、鉢土をほぐして土を落とし、根も半分程度に整理して新しい用土に植え替えます。

4月中下旬ごろから戸外に出して育てますが、徐々に日光にならしていきます。また、切り落としたりした枝は10センチくらいに切りそろえて川砂やパーミキュライトに挿し木してふやすことができます。

ふるさとの昔話



かつばの恩がえし

吉原三丁目の唯称寺には、三代目の住職がかつばを助けたときにもらった茶つぼがあります。今回は、その茶つぼにまつわるお話です。



△唯称寺に伝わる茶つぼ

かつばを助けた和尚さん

昔、唯称寺が中吉原宿（依田橋の西）にあつたころのことでした。ある晩、和尚さんの枕もとに一人の白いひげのおじいさんが現れました。

おじいさんは「私は和田川の川下の三股に住んでいるかつばです。先日の洪水で河合橋の近くにある私のすみかに馬鍬（農具の一種）が引つかかり、子供たちが出入りできません。どうぞ馬鍬を取ってください。」と言って帰りました。

翌朝、和尚さんは小僧を連れて河合橋まで行ってみました。すると、かつばの言つた通り、和田川の土手の下の方に馬鍬が引つかかっています。

和尚さんは、「これだな」と思いながら、小僧と二人で苦労して取り除きました。

その晩、夢の中にかつばが現れて、「和尚さんありがとうとございしました。これは私が川底で拾つた茶つぼです。ほんのお礼のしるし

です。そして、これから唯称寺が火難や水難にあわなないようにしましよ。」と言いました。朝になつて和尚さんが玄関に出てみると、茶つぼと魚が置いてありました。このあと、唯称寺は一度も火事にあつたことがないそうです。

火事に遭わないよ

唯称寺には、茶つぼと馬鍬が今も伝わっています。住職の沢崎白雅さん（六十一歳）は、「カツパの恩がえしかどうか知らないが、何度かあつた吉原の大火をのがれています。」と語ってくれました。＊茶つぼと馬鍬は一般公開していません。



△馬鍬を手にする沢崎さん

地名の由来

藤（原田地区）

齊



原田地区に齊藤という地名があります。由来は定かではありませんが、寛文五年（一六六五年）の駿府代官からの年貢割付状に「齊藤村」とありますので、古くからの村です。

一説では、今川氏の臣、齊藤加賀守（本領地は宇津谷）の領地であつたから、齊藤という地名になつたのだともいわれています。加賀守は今川氏親の家督争いに活躍した武将です。

こちら編集室

いかがでしたでしょうか、新紙面。

横書きを縦書きにして字と紙面を大きくしたわけですが、慣れないことに編集室はあつた。でも、発想の転換という意味ではよい勉強になりました。皆さんこれからもよろしく。

市制20周年記念

今月の行事

駿河湾周遊体験航海
とき 4月26日、
27日
ところ 田子の浦港



新たな創造
確かな発展
—はたちの富士市

富士のあゆみ



▷青島の磔八幡

江戸幕府の農民政策

中吉原宿が津波で破壊した翌年の延宝9年（1681年）、青島村の川口市郎兵衛は幕府の厳しい検地に反抗しました。彼は村の名主で、自分の村とその周辺の村々のために抵抗しましたがはりつけとなりました。

しかし、幕府も予定通りの年貢の取り立てはできませんでした。

感謝した村人は、磔八幡としてまつりました。

また、安永（1772～80年）のころ、大淵の農民は年貢の厳しい取り立てに餓死寸前でした。

名主の新五郎は、農民を救うために江戸へ行って訴え、その罪で首を打たれました。今も帳塚に祭られています。

一方、天和2年（1682年）今泉村の農民中村五郎右衛門は、將軍綱吉から親孝行の模範だとして表彰されました。

これらの事件は江戸幕府の農民政策の表と裏を示したものと いえます。